



町政懇談会の様子（知遊館）

住民の皆さんとの対話の場

町政懇談会2025

6月に町内3会場（知遊館、野田川わくばる、加悦地域公民館）で開催し、延べ64人の方に参加いただいた町政懇談会。行政にとって地域の声を聴き、対話する重要な場です。今月号では、町政懇談会であった主な質疑応答をお知らせします。

※編集の都合上、実際の回答と一致しない場合があります

※回答は町政懇談会時点のものです

図 総務課 ☎43・9010

▼財政・施策に関すること

Q01 実質公債費比率が全国で連続ワースト2。これからされる水道料金の値上げについても、まずは職員の自助努力はしたのか。

A 実質公債費比率が高いのは、住環境の改善を大きな目標として取り組んできた結果です。財政指標をより良いものにしていくためには、私を含め職員が率先して取り組む必要があります。限られた人員と予算の中で対

応しており、水道料金の値上げについても、上下水道課の職員削減を進めたうえで判断しました。住民の皆さんにご負担をお願いする前に、まずは私たち自身ができることをしっかりと見極め、取り組んでいくというのが私たちの考えです。

Q02 プレミアム商品券について、できる限り住民に公平に恩恵のある方法にできないか。

A 今回、プレミアム商品券事業を実施する際に、生活が厳しい方々への配慮がいか

るのかということも同時に議論しました。その中で、国によって住民税非課税世帯を中心として、子育て世帯加算などの生活支援が行われています。この事業が一定、生活の厳しい方々に対し、支援が行き届くということがありました。その観点から、今回は、生活者支援と事業者支援が両立できるような事業が実施できないだろうかという考えのもとで、商品券事業を構築しました。

Q03 総合計画推進事業の関係で、全住民を対象としたアンケート調査をお願いしたい。

A 以前から、住民アンケートは実施しており、第3次与謝野町総合計画の骨子案の策定に向けても、住民アンケートは継続して行う予定です。できる限り多くの方々にお答えいただければ、情報発信していきたいと考えています。

アンケート調査をお願いしたい。

度構築の重要性を十分に理解しており、今年度から新たな事業を実施する予定です。また、移住・定住希望者が増えていることから、空き家に関する問い合わせも多く寄せられています。空き家を適切に流動化させ、成約につなげていくことをめざしています。

Q05 不登校やひきこもりへの対策は、具体的にどのようなことをしていくのか。

A 協議体を設け、ケース会議のようなかたちで、一人ひと

りの児童・生徒に合わせた対応方法を検討していきます。相談窓口や居場所づくり、学習・生活支援、就労支援などを通じて、子ども・子育て家庭の孤独や孤立に寄り添う取り組みを進めます。また、アウトリーチ型の相談支援機関としての役割を果たすこともめざしています。さらに、医療的な視点も取り入れ、より効果的な支援のあり方を考えていきます。

▼公共施設に関すること

Q06 野田川庁舎の旧本館について、危険な建物という認識があるならば、それに対して早く対処すべきではないか。

A 野田川庁舎の旧本館は、使用を中止してから8年が経過しています。この間、「庁舎をいつ、どのように整理していくのか」というご質問もいただきました。これまでは「解体するにしても目的を持って進めなければ前に進みにくい」という方針でしたが、近年は、北庁舎に京都銀行が入られるなど、環境の変化が生じています。こうした状況を踏ま

え、今春から旧本館解体に向けた議論を始めています。

Q07 リフレかやの里の再開に向けて、官民や地域が連携して再構築を進め、長く安定した経営を実現し、住民の皆さんや町外から訪れる方々にも喜ばれる施設となることを期待している。

A リフレかやの里は、持続可能な運営形態が極めて重要であり、行政が直接担うよりも、民間事業者の参入による運営が望ましいと考えています。これまで、関心を持っていただいた事業者の皆さんからご意見を伺いながら、取り組みを進めてきました。現在は公募中であり、応募を検討される事業者の皆さんに向けた情報発信をさらに強化していきます。

▼暮らしに関すること

Q08 中学校の徒歩通学と自転車通学を比較すると、入学時の費用でかなり差があるため不公平を感じる。昨年も質問したが、通学自転車補助の検討状況は？

A 児童・生徒の通学環境の充実については、財政的な支

援や交通手段の確保という点もあります。常に改善に向けて議論をしている状況です。

Q09 「にしがき加悦店」の閉店について、加悦地域区長会から要望書が出されたという新聞記事を見た。岩滝でも「にしがき岩滝店」の閉店で不便になっているので、改善を望む。

A 加悦地域の区長会の皆さんからは、行政に対してスパーなどの誘致についての要望をいただいています。これは、区長会での議論を踏まえたうえで要望であると受け止めています。一方、岩滝地域は加悦地域と比べて面積が小さく、男山地域を中心にスーパーが立地しており、個人商店も一定数残っています。現時点では、岩滝地域区長会の皆さんからは誘致に関する要望はいただ

すべての質疑応答集は、総務課でご覧いただけるほか、町ホームページに公開しています。

